

適正配置計画（案） 策定案要約資料

1. 適正な学校規模の確保 …… **学校を統合**
○学校の小規模化を解消するための手段
2. 適正配置に伴う学校数 …… **小学校1校 ・ 中学校1校**
○児童生徒数の予測推移を鑑みて持続性のある学校適正規模を確保
3. 学校校舎の利用（建設） …… **小学校は新設・中学校は砂中を活用**
○小学校＝既設の学校規模では対応が困難
○中学校＝砂川中学校の規模で対応が可能
4. 学校を配置する位置 …… **小学校と中学校は近接地に配置**
○小中一貫教育の導入及び円滑な推進を鑑みた配置
5. 通学手段（支援）の確保 …… **スクールバスを導入・運行**
○学校統合に伴い、通学距離・時間の基準を超える児童生徒の通学を支援
6. 関連施策（特色ある学校づくり）の推進
- （1）小中一貫教育 …… **適正配置と並行し導入を目指す**
○類型及び形態は施設整備の要件等を勘案して選定。ただし、基本的には義務教育学校を目指す
- （2）地域に開かれた学校 …… **学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の機能を活用**
○学校と地域間のコミュニティを確保し、協働して子どもたちの成長を支える
- （3）特別支援教育の推進 …… **中学校の通級指導教室設置を重点に**
○特別な支援が必要な子どもたちへ、継続的な指導・教育を行う